

議会だより

発行／毛呂山町議会
編集／毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



稲刈り（泉野小学校）

9月の定例会

| | |
|---------------------|-------|
| 議会人事 | 2P |
| 平成21年度一般会計決算、討論 | 3～4P |
| 平成21年度 特別会計決算 | 5P |
| 平成22年度 補正予算 | |
| 常任委員会レポート | 6P |
| 条例の一部改正、議案審議結果、請願ほか | 7～8P |
| いっぱん質問10名 | 8～13P |
| 人事・議会の動き | 14P |

平成22年10月20日発行

第 70 号

この用紙は再生紙を使用しており、議員の自主編集で発行しています。

9月議会 定例会

平成22年9月定例議会は、9月1日から21日までの21日間の会期で開催されました。今議会の議案は、条例の一部改正2件、補正予算6件、決算の認定7件、訴訟関係1件、人事1件、請願1件、報告2件、合計20件が上程され慎重な審議が行なわれ、一般質問には10名の議員が登壇し活発な質問が展開されました。尚、今議会では初日に議長選挙が行なわれました。

正副議長決まる

就任あいさつ

議長 堀江 快治

今年には記録的な猛暑で、町民の皆様は大変なご苦労をなさったことと存じます。併せてこうした状況下、一段と景気の低迷が加速され、日常生活に多大な影響を及ぼしているのではないでしうか。何としても健康に留意され頑張ってくださいたいと願っております。

この度、9月議会におきまして、議員多数の皆様のご推挙により、議長の要職に就くことになりました。自らの浅学非才を顧みまして、責任の重さを一層痛感いたしました。時代のすう勢とともに多

様化する町民の要請に応えるため、決意を新たにさらなる努力を重ねてまいります。

今後、公正・公平な立場で円滑円満な議会運営に努めると共に、皆様の声が反映される議会をめざし、全力で取り組んで参る所存です。

町民皆様の温かいご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

議長選挙結果

堀江快治 13票
藤岡健司 1票

※副議長および総務文教・生活福祉・議会運営・議会だよりの各委員会での新たな編成は行われておりません。

常任委員会構成

総務文教

議会、総務、教育、企画政策

関連、町税ほか歳入全般です。

委員長 伊藤 和由

副委員長 岡部 和雄

委員 井上 健次

〃 藤岡 健司

〃 菅野 博子

〃 高橋 達夫

〃 堀江 快治

生活福祉

福祉全般、生活環境及び

水道事業、農業、土木建設並びに各特別会計6事業です。

委員長 下田 一甫

副委員長 川上 伸子

委員 宮寺 征二

〃 岡野 勉

〃 小峰 明雄

〃 栗田 秀彦

〃 長瀬 衛

会派等の状況

◆グループ自民新生

◎岡部 和雄

栗田 秀彦

高橋 達夫

伊藤 和由

宮寺 征二

◆希望の会

◎下田 一甫

堀江 快治

◆公明党

◎菅野 博子

川上 伸子

◆無所属議員の会

長瀬 衛

◆自民政志会

小峰 明雄

◆社会民主党

岡野 勉

◆日本共産党

藤岡 健司

◆無所属無会派

井上 健次

◎が会派の代表者

平成21年度
決算

2009

一般会計決算を認定

(賛成多数認定)

| 一般会計決算 | 区 分 | 金 額 |
|--------|---------|-------------------------------|
| | 歳入総額 | 95億5,369万円 (前年度比3.8%増) |
| | 歳出総額 | 93億3,385万円 (前年度比11.2%増) |
| | 歳入歳出差引額 | 2億1,983万円 (うち繰越明許費1,681万円) |
| | 実質収支額 | 2億0,302万円 |

※繰越明許費の内訳は、新型インフルエンザ接種費用軽減事業、町道改築工事負担金など

●歳入内訳

(単位：千円)

| 科 目 | 決算額 |
|-------------|------------|
| 町 税 | 38億8,339万6 |
| 地方譲与税 | 1億1,038万8 |
| 利子割交付金 | 1,440万8 |
| 配当割交付金 | 549万4 |
| 株式等譲渡所得割交付金 | 294万4 |
| 地方消費税交付金 | 3億1,760万7 |
| ゴルフ場利用税交付金 | 7,527万4 |
| 自動車取得税交付金 | 4,775万6 |
| 地方特別交付金 | 5,450万5 |
| 地方交付税 | 15億1,499万7 |
| 交通安全対策特別交付金 | 593万3 |
| 分担金及び負担金 | 1億2,423万7 |
| 使用料及び手数料 | 6,938万3 |
| 国庫支出金 | 8億9,210万5 |
| 県支出金 | 4億6,626万3 |
| 財産収入 | 2,618万7 |
| 寄付金 | 111万2 |
| 繰入金 | 2億3,598万5 |
| 繰越金 | 8億1,283万3 |
| 諸収入 | 1億0,607万5 |
| 町債 | 7億8,680万4 |
| 合 計 | 95億5,369万1 |

●歳出内訳

(単位：千円)

| 科 目 | 決算額 |
|--------|------------|
| 議会費 | 9,919万5 |
| 総務費 | 18億7,691万8 |
| 民生費 | 24億9,603万7 |
| 衛生費 | 8億0,619万0 |
| 労働費 | 3,411万7 |
| 農林水産業費 | 1億4,429万4 |
| 商工費 | 4,685万4 |
| 土木費 | 11億6,967万0 |
| 消防費 | 5億9,261万8 |
| 教育費 | 10億7,580万5 |
| 災害復旧費 | 0 |
| 公債費 | 7億4,003万9 |
| 諸支出金 | 2億5,211万1 |
| 予備費 | 0 |
| 合 計 | 93億3,385万3 |



21年度
主な事業

- 町内循環バスの導入
- 町界町名地番整理事業
- 山根荘空調設備改修工事
- 身体障害者施設訓練等支援事業
- 町道維持・新設改良事業
- 長瀬駅前野久保線事業
- こども医療費（中学校終了まで延長）
- 毛呂山中学校校舎耐震補強工事
- 泉野小学校区児童保育所建設

一般会計決算討論

反対します

藤岡 健司 議員

個人町民税は、1・9%の減額となり、固定資産税も3・1%の減額となりました。町民税の減収は町民の所得が減少したこと、固定資産税の減収は土地の下落など資産の目減りがあると思われる。多くの町民の収入が減っている時に町は、もう少し、くらしと福祉に予算をまわして頂きたい。労働システムもアルバイト・パート・派遣社員や請け負い労働等の導入で、ワーキングプアと呼ばれる低賃金で社会保障もない無権利な若年労働者の急増が社会問題化している。教育費については、毛呂山町も国に働きかけて教育費の公的支出を増やすように要望を致します。

岡野 勉 議員

決算審議では2つの項目を注視。誤解を恐れず、1つが毛呂山町民の所得の低さ・厳しさです。2つ目に、生活保護率が高く・すごい勢いで伸び続けています。町づくりはこの事実を踏まえ、第1に、町民全体の生活・福祉を下支えし、町民所得を少しでも引き上げる「雇用・労働」に力を入れること。2つに、「安心・安全な町づくり」が生活全般・教育・保育の現場に求められている。特に、保育園の耐震診断・補強工事は「待ったなし」の課題です。3つに全町民・全地区に等しくバランスある予算配分が必要です。

長瀬 衛 議員

21年度は、厳しい中、多くの事業で一定の成果を得たことは評価する。ただ、投資的経費の使われ方は疑

問だ。長瀬駅では昨年の東武鉄道によるEV工事に続き、自由通路・橋上駅設計委託が行われた。計画では階段・通路が複雑化し、利用者7割が不便となる。場当たりの計画の結果だ。保育園では、関連設計費151万円が無駄になった。公立園児一人当たりの町持ち出し額は民間の約3倍だ。大義なき新保育園計画は幕を下ろすべきだ。生活道路は整備率の低い地域に配慮すべきで、川越坂戸毛呂山線も進展がない。「費用対効果」への据え方も曖昧である。

賛成します

宮寺 征二 議員

厳しい財政状況の中、義務的経費の削減等、各種行政改革に取り組み「安心・安全のまちづくり」を目指して住民サービスの向上に取り組んでいる。特に、介護予防事業等の在宅福祉事業や、障害者自立支

援法に伴う各種給付事業、そして子育て支援としての子ども医療費の支給等積極的に福祉施策の展開を図っている。また、都市基盤整備についても、道路の改良工事側溝新設工事等適切に実施している。教育行政についてもデジタルテレビや教育用コンピュータの整備等教育環境の充実に努めている。今後も町の更なる発展を希望し賛成する。

井上 健次 議員

リーマンショックからの不況の波は、この毛呂山町にも大きな影響を及ぼし、歳入における町税の数字は、前年と比べてマイナスを余儀なくされたものです。一方、政権交代をキッカケとした経済対策は度重なる補正予算を生み、この毛呂山町にも例外なく増えた交付金による予算措置で遅れていた町事業を進める起因ともうかがえます。歳出では、さまざまな補助金等を駆使しての「もろ

バス事業」や子ども達の安全な環境のための「小・中学校校舎耐震補強」が進捗。決算審議での課長の言葉に町民重視の町の姿勢が伺え、更なる町民福祉の充実をお願いする。

岡部 和雄 議員

「政権交代」歴史的な平成21年。民主党の、バラマキ政策は、次世代にツケを残す。歳入確保の為、コンビニ収納の開始。企業誘致条例の施行。町内建設業者から嘆願書が提出される。地場産業の育成。中小企業・小売店を大いに活用せよ。歳出では、町内循環バスの運行、泉野学童保育所の開所、毛呂中校舎の耐震補強等の施策を評価。一部事務組合は、人件費の上昇及び施設の老朽化が課題。ローマ帝国を滅亡に導いた「パンとサーカス」と菅民民主党の権限は同じ。国民へのおいしい話しは、後世に代償を残す。行政は、町民に何が出来るか、再検証が必要。

平成二十二年

特別会計決算

国民健康保険

一般被保険者
平均被保険者数
1万736人
療養の給付
1人当たり費用額
29万2778円

決算額は、歳入総額
44億57万円。歳出総額は
41億5806万円です。

国保の保険料は、医療分、
介護分、昨年より後期高
齢者支援金分も加算されま
す。なお、今年度から保険
税の滞納による資格証明書
世帯のうち18歳以下の者につ
いては、短期被保険者証に
切り替えられました。

老人保健

平成20年4月後期
高齢者医療制度に移
行しました。

決算額は、歳入総額28

後期高齢者医療

被保険者数
3199人
1人当り年間保険料
5万7653円

決算額は、歳入総額
2億4924万円、歳出総
額2億4334万円です。
主な事業は、保険証の引
渡し、各種申請の受付、保
険料の徴収業務に従事しま
した。

農業集落排水

生活環境の整備と河
川や用排水路の水環
境の保全を目的とし
た事業

決算額は、歳入総額
2946万円、歳出総額
2367万円です。

水道事業

給水戸数
1万5663戸
給水人口
3万6662人

事業収益の決算額
は、7億6710万円。

平成22年度 補正予算

事業費用の決算額は、
7億2415万円です。
(賛成多数可決)

一般 会計

一般会計
補正予算
は、歳入歳
出それぞれ
4億199
8万円を追
加し、予算
総額を96億
387万円
としまし
た。

(全員賛成
可決)

老人保健

老人保健特別会計補正予
算は、歳入歳出それぞれ5
10万円を追加し、予算総
額を1056万円としまし
た。

(全員賛成可決)

農業集落排水

農業集落排水事業特別会
計補正予算は、歳入歳出そ
れぞれ58万円を追加し、予
算総額を2922万円とし
ました。

(全員賛成可決)

介護保険

介護保険特別会計補正
予算は、歳入歳出それぞれ
1億697万円を追加し、予
算総額を16億5725万円と
しました。

(全員賛成可決)

後期高齢者医療

後期高齢者医療特別会計
補正予算は、歳入歳出それ
ぞれ91万円を減額し、予算
総額を2億5731万円と
しました。

(全員賛成可決)

国民健康保険

国民健康保険特別会計補
正予算は、歳入歳出それぞ
れ6631万円を追加し、
予算総額を43億2131万
円としました。

(全員賛成可決)

常任委員会レポート

委員会に付託となった議案審査を行ないました

《総務文教常任委員会》

平成21年度一般会計決算認定のうち、歳入の部全部および歳出の部、議会費、総務費、消防費、教育費、公債費、諸支出金、予備費について審査を行いました。なお、審査にあたり議案に関する現地視察を行いました。



東毛呂駅駐輪場

■主な質疑

- 問** 個人町民税が4000万円ほど減少していますが、原因は労働所得の減少か。
- 答** 個人所得・事業所得の落ち込みと考えられます。個人所得では雇用の悪化、リストラ・給与の引き下げが大きな要因であり、個人事業税の営業所得は20年度に比べて9.94%の減少であります。
- 問** 地域活性化の経済危機対策臨時交付金は、全て地域の活性化資金として活用できたのか。
- 答** この臨時交付金は、地域や地元の企業に発注できるような事業を目的として入札にあたりました。特殊なものを除いて、地元業者に活用できました。
- 問** 中学校の不登校児童が33人から14人と昨年度より減少している。現状はどうか。
- 答** 不登校児童の規定が50日を越える扱いですので、この規定では減少していますが30日以上では、まだ人数的にはおります。

《生活福祉常任委員会》

平成21年度一般会計決算認定のうち、歳出の部、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、災害復旧費、特別会計決算認定（国民健康保険、水道事業、老人保健、農業集落排水事業、介護保険、後期高齢者医療）請願について審査を行いました。なお、審査にあたり議案に関する現地視察を行いました。



川角リブラ対策用地（川角地内）

■主な質疑

- 問** 乳幼児健診4回の受診の状況は。
- 答** 4か月健診は95.6%で受診されなかった方が228人中6名。10か月93.3%で198人中9名。1歳6か月94.8%で232人中10名。3歳児89%で266人中27名。受診されなかった方には手紙を送付、その後、地区担当が電話で対応。
- 問** 生活保護の申請状況と保護世帯数は。
- 答** 今年7月末で生活保護は468世帯、606人で600人を超えた。保護率は15.6パーミル、近年増加している。
- 問** 山根荘の単位老人クラブの運営状況はどうか。なお範囲を幹事区まで広げてはどうか。
- 答** クラブ数は28ですが会員数が年々減少している。クラブに若い高齢者が入らない等、何らかの対策・支援を行っていききたい。

条例の一部改正

◎毛呂山町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

例

児童扶養手当法及び児童

扶養手当法施行令の改正により「父子家庭」が対象とされたことに伴い、ひとり親家庭等の医療費の支給に対する用語の定義の見直しを行なうものです。

○ひとり親家庭の定義の中でこれ迄は「父又は母がその児童を監護する家庭」となっていたが「父が監護し、かつ、その児童と生計を同じくする」というように父親の要件をただ監護するだけでなく、児童と生計を同じくしていることが要件に加わりました。

○これ迄は父又は母が監護しない児童が対象になっていたが母が監護しない場合

に加え、母がない児童も対象になり、同様に父が監護しない場合に加え生計を同じくしない又は父がない児童も対象になりました。

○医療費の対象要件で2人以上が対象となる場合、父及び母が対象となるとき又は父及び養育者が対象となる時は、父を対象とせず、母及び養育者が対象となる時は養育者を対象としません。

(全員賛成可決)

◎毛呂山町国民健康保険条例の一部を改正する条例

例の一部を改正する条例

○国は医療保険制度の安定運営を図るため国民健康保険法の一部を改正、内容は市町村単位の運営を都道府県単位の広域化を進めて行くために改正されたもので町条例の条項を改めました。

(全員賛成可決)

議案の審議結果 (9月定例会)

○は賛成 ×は反対 退は退席 討は討論 議は議長

| 議案 | 議員名 (期数順) | | | | | | | | | | | | | 審議結果 | | |
|----|------------------------------------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|------|-----|
| | 宮寺征二 | 井上健次 | 藤岡健司 | 下田一甫 | 岡野勉 | 川上伸子 | 伊藤和由 | 菅野博子 | 小峰明雄 | 高橋達夫 | 栗田秀彦 | 長瀬衛 | 岡部和雄 | | 堀江快治 | |
| 33 | 毛呂山町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 34 | 毛呂山町国民健康保険条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 35 | 平成22年度毛呂山町一般会計補正予算 (第2号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 36 | 平成22年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 37 | 平成22年度毛呂山町老人保健特別会計補正予算 (第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 38 | 平成22年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 39 | 平成22年度毛呂山町介護保険特別会計補正予算 (第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 40 | 平成22年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 41 | 平成21年度毛呂山町一般会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 認定 |
| 42 | 平成21年度毛呂山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 認定 |
| 43 | 平成21年度毛呂山町水道事業決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 認定 |
| 44 | 平成21年度毛呂山町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 認定 |
| 45 | 平成21年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 認定 |
| 46 | 平成21年度毛呂山町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 認定 |
| 47 | 平成21年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 認定 |
| 48 | 訴訟上の和解について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 可決 |
| 49 | 教育委員会委員の任命について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 同意 |
| 議案 | 「ごみの分別の徹底・ごみの循環型社会の構築」を毛呂山町に求める件 | × | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | 退 | 議 | 不採択 |

訴訟上の和解

町税滞納者が消費者金融に対して有する過払金返還請求権を町で差し押さえましたが、消費者金融は再三の支払い催告に応じないため、昨年9月定例会において議決を得た後、平成21年10月1日付け、さいたま地方裁判所川越支部へ差押債権取立金請求事件として提訴しました。

原告である町と被告である消費者金融との間で、これまで口頭弁論等を重ねてきたところ、裁判所から和解交渉の提案がされ、その結果、被告側から和解内容が提示されました。その内容に対して議会の議決が求められました。

(全員賛成可決)

請願第一号

「ごみの分別の徹底・ごみの循環型社会の構築」を毛呂山町に求める件

提出者 平林 重利

北川 弘宣

久保 きく

紹介議員 井上 健次

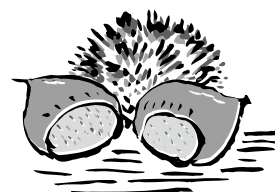
請願の要旨

自治体に課せられた温室ガス抑制に所する施策において毛呂山町は推進地区や団体・町民に依存している

状況であり、町としての取り組みが町民には見えない。ごみの減量化に取り組み、組織も年々減少・衰退し、活動に支障があるので町としてごみ減量化に向けた施策を求めるもの。

あり、裁決の結果全員反対で委員会では不採択すべきものと決しました。その後9月21日議会最終日、本会議で不採択となりました。

(賛成少数不採択)



いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員と質問事項

- 菅野博子議員** ①子宮頸がんワクチン接種、検診
- 伊藤和由議員** ①民間建築物の耐震診断・耐震改修促進事業の実績と啓蒙
②安全で快適に住める環境整備の為、町民農園の整備事業の実績と将来構想を聞く
- 下田一甫議員** ①地上デジタル放送移行対策
- 岡野 勉議員** ①安心・安全な町づくり
②保育行政の充実
③学校2学期制と毛呂山高校の跡地利用は
- 小峰明雄議員** ①道路防災点検
②障害者福祉の充実
③教育・子育て環境の充実
- 川上伸子議員** ①前期高齢者の国民健康保険被保険者証のサイズをコンパクトに
②災害対応型飲料自動販売機（地域貢献型自動販売機）の設置
- 藤岡健司議員** ①教育
②鳥獣の被害対策
③介護保険
- 高橋達夫議員** ①小沢町長4選出馬の考えは
②下水道組合溢水事故のその後と町の考えは
③町内4私立保育園
- 井上健次議員** ①高齢者に不安はないか
②町の農業と観光事業
- 長瀬 衛議員** ①町政運営における基本理念と政策課題
②地域集会等施設整備状況

※内容については、各人の原稿をもとに、質問順で掲載いたします。質問順は抽選により決定されます。

子宮頸がんは 予防できます

あなたのがんの危険性を チェックしませんか？

子宮頸がんは
20～30歳代の
若い女性に
増えています。

子宮頸がんワクチン接種 に公費助成を

新年度予算に編成したい

菅野 博子 議員

「検診」と「予防ワクチン接種」を

子宮頸がんは近年では若い女性に増加し、大きな社会問題となっています。本人の自覚症状がないために発見が遅れ、国内では年間1万5千人以上が発病し、3千500人にのぼる大切な命が

失われています。子宮頸がんは検診と予防ワクチンでほぼ100%予防できます。子宮頸がんから命を守るためには「検診」の受診率向上とワクチン接種が有効ですが、任意接種のため計3回、約5万円の費用は全額自己負担となります。負担軽減の

ため全国の自治体が公費助成を行う輪が広がっています。毛呂山町におきましても早急に取り組んでいただきたい。町の子宮頸がんに対する施策は。

子宮頸がんは、母性を担う若い世代で、母性機能の一部を失う可能性のある疾病であるため、その予防と早期発見が重要であると認識しております。今後、埼玉医大や地元医師会と連携しつつ、子宮頸がんワクチンの接種について積極的に検討してまいりたい。

積極的に検討するとは、具体的にどのようなことか。

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を予防するワクチンの接種については、その最適な年齢層として12歳前後の女兒への接種が有効であるといわれています。国では来年度、ワクチンの接種費用への助成方針を示しています。今後助成額や対象年齢などを地元医師会、埼玉医大、学校、町教育委員会など関係機関と検討協議し、来年度予算に編成して参りたい。

他に、対象児童・生徒に対する指導、保護者の理解をどうするか問う。

一般住宅の耐震診断、 改修補助事業の成果は

地震時への対策事業と認識し啓発に努める

伊藤 和由 議員

国は阪神・淡路大震災を教訓とし、社会資本の損失を防ぎ、国民の生命財産の保全を図る為、建築物の構造基準を改正強化しつつ、テフレ不況下にある社会経済の活性化を目的として、建築物の耐震改修促進法を施行した。

町は県に従い、毛呂山町建築

物改修促進計画を策定し、昭和56年以前に建設の木造住宅の耐震診断に5万円、耐震改修工事に20万円の補助金交付事業を開始した。事業開始後、1年半が経過したが、利用実績は如何か。

地震に対する木造住宅の耐

全な住宅整備を促進する事業ですが、昨年度は床面積48坪、実費15万7千円の耐震診断の補助金5万円の1件のみであり、耐震改修工事の補助金申請は利用申込者が居ない状況であります。

地震時の事前対策として重要な事業である。安全な地域造りの為、啓発・啓蒙をすべきではないのか。

広報紙や窓口で案内書の配布を始め、区長会等の会合で情報提供を積極的に説明・促進し、地震に強い町づくりに努めます。

経済の低迷と少子高齢化で家族構成が変化していく中、未

耕作の農地が増加している状況である。本年、町民農園の整備方針の方向が出され、町民農園を開設する農家に整備費の一部を補助する事業が開始されたが、活用状況をお聞きしたい。

整備補助金の申請件数は1件で、1区画30㎡で50区画予定され、現在23区画を21名の方が利用している。活用状況が少なく、今後とも農業委員会等を通じ、啓発と普及を図り、制度の活用と未耕作地の利活用に向け努力致します。



地震時の事前対策は、お済みですか



地デジ対策は早めに（進むCATV受信の架線工事）

地デジ移行迄1年を切った。 対策は！

10月1日から戸別訪問で対応予定

下田 一甫 議員

問 テレビ放映が現行の放映から地上デジタル放映に完全移行（平成23年7月24日・12時）迄1年を切った。この切替にあたっては戸別にアンテナを設置し受信、ケーブルテレビ（CATV）で受

信、光回線で受信する3つの選択肢があるが地デジ対策を知らない方が多いと考えられ町の取組が消極的に伺える。又、介護認定者を除く800名近い70歳以上の独居老人、あるいは生活困窮者でテレビの買い換え、アンテナ工事など一時的な支出が

出来ない家庭など問題は多いと思う。又、切替間近には地デジ切替工事が集中し対応が出来なくなるであろうと懸念されている。昨今、切替当日の混乱が予想されるが対策はどう取られているか。

内には大きく分けて10グループの地域共聴組合があり移行対策に関する考え方の理解を願ってきた。さらに地域情報通信基盤整備推進交付金を活用、新規CATV事業の「ゆずの里ケーブルテレビKK」を設立、10月に開局が予定されている。生活困窮者対策として生活保護受給者対策ではチューナーの無償配布、アンテナの無償工事を行っている。低所得者対策は埼玉県社会福祉協議会の福祉資金貸付制度の対象として機器購入費や工事費も利用出来るようになっている。

若草・上町保育園、早期に 耐震補強工事・診断を！

「上町」は建て替えて、
要望に応えられるように考えたい

岡野 勉 議員

問 町立2園（上町・若草）の耐震診断と補強工事はいっ行われるのか。若草保育園は耐震診断の結果はIS値で0・23の園舎が確認された（安全基準は0・6以上必要）。また、上町保育園の耐震診断は「子育て支援等検討委員会」の話し合いを受

け検討する（9月補正予算に間に合うように）との答弁であった。**答** 「検討委員会」は、今後の町立保育園の在り方等について検討を頂くことが目的であり、町立2園の耐震診断と補強工事については「認定こども園」を含めた、町全体の保育の入所状

況を踏まえ対応して参ります。**問** 当然、保護者から耐震について「不安の声が出ています」と思うが、町には届いていないのか。**答** 7月、若草保育園の保護者会で耐震診断の結果・状況説明をしました。特に意見は有りませんでした。**財源が「子どもの生命」に優先していいのか！**

早急に耐震工事の実施を。**問** 「検討委員会」の結果や財源の効率的な面も含め今後、対応していきたい。**問** 園児の生活の場（保育室・講堂＝昼寝の場）であり、子どもたちの生命の問題だ。最優先に耐震補強工事の実施をお願いする。**答** 上町保育園の建て替えは、大至急・順序立てて工程を作り、議会の要望に応えられるよう考えたい。若草保育園の耐震工事については、町全体の子育て等を含め、総合的に考慮・対応したい。



危険な園舎 5年も様子見か!



権現堂・林道中野線の崩壊が危惧される擁壁

道路防災点検を定期的に実施

道路の安全を確保する上で重要と考える

小峰 明雄 議員

問 権現堂、林道中野線の擁壁、平成16年と今回指摘を致しましたが。

答 平成16年に擁壁が傾きかけていると指摘を受け現地測量を実施。平成18年度に舗装修繕工事を実施。しかしながら、擁

壁の崩壊の危険性が生じてまいりましたので、本定例議会に測量設計委託費の補正予算を計上。

問 地域デイケア施設あいあい園・第2あいあい園は、平成18年施行の障害者自立支援法で、新しい施設体系に移行ご見解は。

答 来年度移行を目指し社協と

協議、就労継続支援事業B型と就労移行支援事業の移行を検討。

問 学校給食費の会計方式は、私会計ですが、給食費の徴収等の問題は、学校のみで解決できるものではないと考えますが。

答 今後、学校給食センター運営委員会・教育委員会等により慎重に協議してまいります。

問 毛呂山中学校の生徒会が、主体となつて取組まれておりますベルマーク運動、意義のある活動と思いますが、ご所見は。

答 取組は生徒による自治的な活動であり、目的意識もはつきりしており、大変素晴らしい。

問 子供たちが、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進める目的の放課後子ども教室、取組状況と課題は。

答 平成21年7月から東公民館内において実施し順調に進んでおります。課題は人材の養成や確保、また活動内容の充実、さらには子供たちの安全対策。

問 地域子育て応援タウンの認定に向けた、総合支援窓口と子育てマネージャーの取組は。

答 子ども課が総合支援窓口の役割を果たしている。子育てマネージャーは現在3名の職員が研修を修了した。

「災害対応型自動販売機」設置に対する町の考えは

既に町内5箇所に設置

川上 伸子 議員

平成7年1月に発生した兵庫県南部地震は直下型地震で、戦後わが国が経験したことのない未曾有の被害をもたらした。それ以降も国内では大規模地震が発生している。大きな災害が起きた時、生き延びるためには最低限、水の確保が必要と思う。日

本コカ・コーラは社会貢献の一環として通信機能を備えた自動販売機を災害時に飲料を無償提供する協定を各自自治体と結んでいると聞く。

問 5箇所の設置場所は。

答 役場庁舎、総合公園、武州長瀬駅前広場、福祉会館、東公

民館に1台ずつ設置されている。この自動販売機は電光掲示板により、平常時は地域住民の方々への情報提供として、ニュースや天気予報をリアルタイムに表示する機能を備えている。

問 災害時、飲料が無償提供になると聞くが。

答 大規模災害時には、救援物資提供に関する協定により、災害対応型自動販売機内の飲料は無償提供される。

70歳になると「健康保険高齢受給者証」が交付される。しかし、国民被保険者証とのサイズが違いため、不便との声を聞く。

問 サイズの違いの根拠は。

答 高齢受給者証には2種類のサイズがあり、どちらのサイズを使用しても良い。

問 サイズを統一するには。

答 国民健康保険のシステム改修をし、他の被保険者証と区別するために異なる色の作成が必要と思う。平成25年度から後期高齢者医療制度が廃止され、国民健康保険制度に移行する予定で現在進んでいる。年齢区別が解消されることも考えられるので今後の制度改正に注視し検討していきたい。



災害対応型自動販売機



捕獲されたアライグマ

近年、どういふ獣が被害をもたらしているか

在来の野生動物に加え、ペット等の目的で輸入された動物が野生化し、被害を及ぼす

藤岡 健司 議員

問 近年の鳥獣被害の拡大と山から里に現れる獣や外来生物の報道など鳥獣対策が問題になっていきます。町では、この現状をどう考えているのか。

答 イノシシについては滝ノ入、阿諏訪、大谷木などの山間地域で、アライグマ、ハクビシンやカラスなどは町内全域で、野菜や果樹、水稲など多くの農作物に被害が発生している。

問 被害に強い地域づくりについて町はどう考えているのか。

答 被害に強い地域づくりについては、少人数学級実現に向けての町の考えは、

問 荒れた農地等の草刈を徹底し見通しをよくしたり、餌となるような農産物を捨てないことや電気柵の活用、アライグマやハクビシンについては建物や家がならないよう適正に管理する。

問 少人数学級実現に向けての町の考えは、

答 新学習指導要領に対応した教育を推進し、いじめ・不登校などの生徒指導上の諸課題を解決し、個に応じたきめ細かい指導をおこなっていくために、学級編成の標準の引き下げ及び教職

問 各種調査等の精選、校務の効率化のための校内ネットワーク化、支援員や相談員の配置、部活動外部指導者の配置など教員の負担軽減に努めているところ。

問 教職員の多忙化についての町の考えは、

答 各種調査等の精選、校務の効率化のための校内ネットワーク化、支援員や相談員の配置、部活動外部指導者の配置など教員の負担軽減に努めているところ。

問 利用者サービスを制限しているのでは。

答 限度額に対する利用率は4割程度で、全国的にも同じ傾向。

小沢町長4選出馬の考えは

後援会役員に相談したいので、今定例会で進退発表は控えたい

高橋 達夫 議員

問 民主党代表選に小沢前幹事長が出るのか出ないのか大きなニュースになった。結局出馬することになったが、来年は毛呂山町長選挙の年だ。小沢町長の4選出馬の考えはあるのか。

答 高橋議員より「4選出馬」について有難い質問をいただいたので心境を申し上げたい。

平成11年4月、3度目の町長選挑戦で初当選を果して以来、早いもので11年4ヶ月が経過した。平成不況の影響により、町財政も常に厳しい状況下であったが、議員各位を始め、住民の協力のおかげで、職員の協力を得て、事業に

んだ行政改革は、集中改革プラン報告書に見られるように大きな成果をあげる事が出来た。

今後は、目標である「夢と希望に満ちた活力ある毛呂山」を築くため企業誘致を行い町の発展を築くと共に、埼玉医科大と共に歩む本町に更なる活力をつける必要があると考える。

教育面では「基礎学力日本一を目指す町」として先生方の指導力の向上と教育環境の整備に力を注がなければならない。

子育て支援についても、より充実した施策を推し進め、観光事業にあつては総合公園プールの

跡地利用、東側山林を住民の憩い場に整備すると共に、鎌北湖、宿谷の滝を中心とした観光拠点づくりを進める必要がある。

これらの施策を考えた時熱い思いが脳裡に走るが、ここではつきり言える事は2期目、3期目に抱いた想いと微妙に違う。近々、後援会の役員に真意を伝え、重い判断をしたので、今定例会では進退に付いての発表は控えさせて頂きたい。

問 健康の問題については、ご覧の通り元気である。



4期目出馬の心境を語る小沢町長



高齢者のいこいの場（山根荘）

高齢者への虐待はあるか

平成20年度4件、平成21年度7件ある

井上 健次 議員

問 高齢者の医療問題や独居での生活が大きな社会問題となっている。住民台帳に存在しているも実際には居ない高齢者が何十人単位で発表される自治体があるが、「福祉の町毛呂山」と言われ

る本町での実態はどうか。また日々の生活で不安の渦中における高齢者の方はいないか。

答 当町では、100歳以上の高齢者は4名となっており施設やご家族と元気に暮らしております。単身で生活をしている高齢者は現在1,800世帯程で高齢者

は現在1,800世帯程で高齢者は現在1,800世帯程で高齢者

の福祉サービスを行っております。

問 緊急通報システム事業は93台の設置、給食配食サービスは7月現在で87名の利用となっております。介護用品等給付事業は高齢者を介護している方々の身体的、精神的、経済的負担を軽減することを目的として、介護用品の給付額（上限5,000円）の1割を負担するもので71名の利用となっております。

問 問題となっている所在が確認できない高齢者はいないか。

答 当町で75歳以上の高齢者は3,200人程です。現在210人程確認が取れていませんが所在

確認をすすめているところです。

問 介護用品等給付事業の給付額は1割と聞か、今後介護される方も増やさないか。

答 介護保険の自己負担1割の考え方から決めているが市町村の考え方であるので町財政に余裕があれば見直していきたい。

問 高齢者に対する虐待について現状を把握しているか。

答 平成20年度4件、平成21年度7件と増加しており各機関と連携を図り慎重に対応している。高齢者虐待への講演会等で抑止力に努める。

巨額、橋上駅！下りホームへ85段・歩行距離は50m増！

高齢化だからこそ町の活力維持に必要！

長瀬 衛 議員

問 長瀬橋上駅設計が完了した。上り・下りとも北口利用の一部を除き利便性は損なわれる。南口から上りホームまでの水平距離は倍に。下りへの階段は現在の5段が85段に。歩行距離はプラス50m。まるで迷路だ。完成の暁に利用者の反感を買う

こと間違いなしだ。

答 南口利用者には歩く距離が長くなるが、利便性は出てくるし、町の顔にもなる。過剰投資ではなく、高齢化だからこそ基盤整備と町の活力維持に必要な工事である。

「費用対効果」見極めの目安は！

問 理屈では分かっていたが少

子高齢時代が現実となった。家庭や地域社会における人間関係の希薄化は所在不明の高齢者、子ども虐待を生み、若者の雇用不安、高齢者の医療、介護等への不満等、状況は一変している。

国家借金の深刻化は「国、

地方の愚集政治が日本をダメにした」との指摘もある。地方主権への転換は自己責任の考え方が求められる。政策実務者に重要

政策の基本理念を聞く。また、地方自治の原則「最少の経費で最大の事業効果」について見極

めの目安は何か？

答 政策会議等では原理原則を常に念頭に置いている。事業を進めるにあたって結果を予測するのは難しい。

新保育園建設保留と今後！

問 今後、施設は減らせる。保留を決めた5回の政策会議では未就学児人口推移等を基に検討したか？また、

公民で保育料、保育内容等に違いがあるのか？

答 子ども人口の見込み等は正直、政策会議の席上上がったのではない。保育は町の仕事でありそこに公立・民間の差はない。



今、なぜ！8億6千万円の巨大な橋上駅

人事

教育委員会委員

丸木清之氏

(新任)

昭和46年6月生
毛呂山町毛呂本郷

全員協議会

【9月2日】

都市計画法に基づく開発許可事務移譲について

武州長瀬駅自由通路及び橋上駅舎整備事業について

○平成12年4月に施行された地方自治法第252条の17の2の規定に基づき、知事の権限に属する事務の一部を市町村が処理することとするもので、あらかじめ知事と町長が協議の上、県の事務処理特例条例で定めることにより希望するすべての市町村に対し開発許可事務を移譲することが可能となりました。

○工事内容

・自由通路工事

鉄骨造2階建 通路幅員

4m 階段部3m

延べ床面積464㎡

エレベーター2基

・橋上駅舎工事

鉄骨2階建

延べ床面積270㎡

多機能・旅客トイレ

○工事に要する費用(概算)

・自由通路工事

4億4900万円

・橋上駅舎工事

4億0700万円

○工事期間(予定)

議会の動き

- 7月20日 第69号議会だより発行
- 20日 西入間広域消防組合臨時議会
- 8月5日 埼玉県町村議会議長会視察研修(福島県)
- 6日 広域静苑組合議会定例会
- 20日 毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合議会定例会
- 25日 議会運営委員会
- 27日 埼玉西部環境保全組合議会定例会
- 30日 坂戸地区衛生組合議会定例会
- 9月1日 第3回(9月)議会定例会
- 21日 全員協議会
- 2日 西入間広域消防組合議会定例会
- 30日 埼玉西部環境保全組合視察研修(茨城県・栃木県)
- 7日 西入間広域消防組合視察研修(新潟県)
- 12日 埼玉県町村議会議長会議員研修会(三芳町)
- 13日 毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合臨時議会
- 15日
- 19日
- 10月6日
- 7日
- 12日
- 13日
- 15日
- 19日

次回定例会は12月です。

9月定例会傍聴者数

| 本会議日 | 傍聴者数(人) |
|---------|---------|
| 9月1日(水) | 0 |
| 2日(木) | 0 |
| 3日(金) | 3 |
| 6日(月) | 27 |
| 7日(火) | 0 |
| 8日(水) | 0 |
| 21日(火) | 1 |

傍聴席

平成23年8月から平成25年1月末まで
毛呂山町土地開発公社保有土地の清算について
○公社では岩井地内に保有している土地の清算を行いたい。
23年度中には一連の事務手続きを完了し「毛呂山町土地開発公社」を解散したいと考えている。

◆議会協議

(1) 各事務組合から内容報告
(2) 議員派遣について
(3) その他



猛暑続きの今年の夏、東京の建設工事現場のフェンスの一角を利用し、ナスやキュウリ、ミニトマトなど6種類の野菜作りが行われた。仕事を請け負った業者は、フェンスを緑化して霧を吹きかけていたが、「せっかくなから、熱中症対策に野菜を作って食べよう」との声が出て6月から栽培を始めたそうです。

町内にも奇特な人がいて、休耕地でも耕作してくれたらしいのになあと思う。

宮寺 征二

編集委員

委員長 井上 健次
副委員長 宮寺 征二
委員 藤岡 健司
委員 下田 一甫
委員 岡野 勉
委員 川上 伸子

アドバイザー
(議長) 堀江 快治